

雁ヶ池通信

web版

創意・勤勉・友愛

GAN-GA-IKE
TSU-SHIN

No.166
2025.3
Spring



卒業おめでとう!



104名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんと出会った三年前の春、桜の花が咲きほこるなか、入学式が行われ、まだまだあどけなさの残る表情に期待と不安、そして緊張感を漂わせていました。そんな皆さんが、頼もしく、大人びた姿で卒業式を迎えるにあたり、この三年間での成長を感じるとともに、様々な活動のなかで、宿毛工業高校生として励み活躍してくれたことに対し、心から感謝したいと思います。本当に有り難うございました。

今、振り返ると皆さんが本校の1年生として入学した時期には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学校教育活動が中止、延期、規模縮小等の制約がありました。このような状況下ではありましたが、学年が進むにつれ学校教育活動はコロナ禍以前の状況に戻り、体育祭、文化祭、修学旅行、部活動の各大会参加といった、思い出に残る大きな学校行事や課外活動が実施できたことは大変喜ばしいことでした。

皆さんは、この三年間で見違えるように成長し、今日の旅立ちの日を迎えられました。日々の授業や実習をはじめ、資格試験、部活動、そして進路実現に取り組み、心身ともに大きく成長しました。これも皆さんの継続した努力と強い精神力があったからだと思っています。これらに対し、深い敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

その成長の糧となった数々の出来事が、走馬灯のように頭の中を駆け巡っていることでしょう。授業や実習、教室での出来事、課題研究やものづくりでの奮闘、各種資格取得に向けての補習、青春の汗をかいた部活動、友情を育み信頼関係を築き上げた学校行事、厳しかったけど振り返ると感じる先生の温もり、いつでも応援してくれた家族の愛情、いろいろな場面が鮮明に浮かんでいると思います。このこと全てが、宿毛工業高校の三年間でしか得ることのできなかった大切な一生の宝物です。いつまでも大切にしてください。

保護者の皆様方におかれましては、三年間にわたり、本校の教育活動に、ご理解とご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。何かとご心配のことも多かったことと拝察いたしますが、子どもさん方はこのように立派に成長され、晴れやかな表情で本日の卒業式を迎えることとなりました。心よりお祝い申し上げます。

本校は、校訓「創意・勤勉・友愛」のもと、法の精神に則り、人格の涵養を図るとともに、良き社会人としての資質を養い、産業と文化の発展に貢献できる人材の育成を目指してきました。卒業を迎え、多くの生徒の皆さんがその期待に応え、立派に成長してくれたことは、教職員一同この上ない喜びです。

近年の社会情勢は第6期科学技術・イノベーション基本計画においてSociety5.0の実現が進められ、第4次産業革命の技術革新が急速に進むIoT、ビッグデータ、AI、ロボットに加え、第5次産業革命では環境や社会へ配慮しながら良好な経済活動を維持する『持続可能性』、人と機械の協働作業を進め効率化を図り人間のニーズを満たす『人間中心』の考え方、自然災害やパンデミックに直面した時に産業や人々の生活を守り回復する『回復力』を提唱しています。このような時代の変革期に対応していくためには、柔軟な発想で、新しいことへ積極的に挑戦していく『志』が重要です。その時、本校の校訓である「創意・勤勉・友愛」の考え方が生かされてくると思います。自分のオリジナルの創意工夫が必要であることや地道に努力を続けることの大切さ、周囲と協働しながら進めていく力が、これから必要になってまいります。『人は宝なり』とよく言われます。最終的に皆さんの人間力が求められる社会であることは認識しておいてください。

卒業生の皆さん、身体健康には十分に留意され、それぞれの目標に向かって一歩ずつ前進してください。そして卒業生一人ひとりのこれからの人生が光り輝き、ますます活躍されますことを祈念いたします。

終わりにになりましたが、保護者の皆様や同窓会の皆様及び地域の皆様方に対しまして、これまで本校の教育活動に一方ならぬご支援、ご協力をいただきましたことを心からお礼申し上げます。今後とも本校の充実・発展に向けて、ご協力をお願いいたします。



祝辞

同窓会長

卒業生の皆さん並びにご臨席のご家族の皆さま、本日は誠におめでとうございます。同窓会を代表いたしまして、お祝いと歓迎の言葉を申し上げます。

卒業生の皆さんは、高校生活を送られた中で親しい友人ができたかと思いますが、高校時代にできた友だちは、一生の友と言われます。皆さんが技を取得する中でつちかってきた信頼関係は、確固たるものですので、これからも長く持ち続けていってください。

社会人になると、それぞれの生活環境も変わってきて、そこではまた新しい人との出会いがあって、それなりに友だちも出来てこようかと思いますが、大切なのは、お互いを尊重し、支え合い、共に成長することです。

そして、大切な友だちとのつながりを長く継続させるには、年に一度の会話も効果的であり、その会話の場としては同窓会が最適であります。

本校の同窓会は、卒業と同時に正会員となる素朴な組織ではありますが、ここでは、世代を超えて話し合える人間関係が形成されていますので、会員相互の交流と、心の支えとして、皆さんにもご活用いただきたく、ここにご歓迎申し上げます。

来年早々には、本校も70周年記念事業を控えていて、多くの会員にもご参会をお願いしているところですので、皆さんにも是非おこし願ひ、会員相互の交流で盛会にさせていただきようお願い申し上げます。

結びにあたり、校長先生をはじめ各先生方には、立派な同窓生を育ててくださり感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

そして、卒業生の皆さんには、今後ますますのご健勝と、健康な心と身体での新しい生活をご祈念申し上げ、同窓会を代表しての祝辞とさせていただきます。

贈る言葉

P T A会長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんにとって、宿毛工業高校で過ごした時間はどのようなものだったでしょうか。新型コロナウイルスの影響による規制が残る状況の中での入学式からスタートした学校生活も、昨年度から徐々に規制が緩和され、今年度は完全に通常の学校生活を取り戻せたのではないのでしょうか。様々な制限の中でも、工夫しながら勉学に励み、部活動に熱中し、色々なことに挑戦したり努力したりして、友達と笑い、泣き、苦しみ、喜びあった日々は、皆さんの人生の大きな大きな経験値として、これから社会に出て生きていく中で助けてくれる強力な武器となります。高校生活の思い出を忘れずに、常に前向きに進んでください。

保護者の皆様、無事に卒業の日を迎え、これまでのご苦勞が報われ感慨もひとしおのことと思います。本日は誠におめでとうございます。また、3年間本校の活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。

そして、子ども達に寄り添い、根気よく愛情をもって成長を支えていただいた先生方、深く感謝申し上げます。同窓会の皆様、地域の皆様、関係各所の皆様には学校内外の場において子どもたちをご指導ご支援いただき本当にありがとうございました。

結びに、この春からそれぞれの道を歩み、新たな一步を踏み出す卒業生の皆さんが、夢や目標に邁進し、笑顔で幸せな人生を送れるよう、心からのエールを申し上げ、私からの贈る言葉とさせていただきます。



令和6年度 進路状況 (令和7年2月6日現在)

進路指導部

現時点で就職54名、進学47名となっております。自分の第一希望へのチャレンジを貫き、納得のいく結果だったのではないのでしょうか。進学においても、健闘が見られました。いずれにしろ、各々が最後までよく頑張りました。4月からの新たな場所での活躍を祈っています。

さて、今年度本校への求人社数は県内216社（前年比+11）、県外829社（+124）で、求人総数は2059（+344）となっております。昨年度に引き続き、前年を上回る求人をいただきました。来年度の求人については、今年度と同様の状況も予測されますが、1、2年生の皆さんは、社会情勢や景気がどう動こうが対処できるよう努力して成績を上げ、試験で必要となる基礎学力をつけてください。また、人と対話できるコミュニケーション能力も大切です。さらに言えば、入社後も必要とされる人材でいられるような努力も必要です。自分の進路実現に向けて、今、自分にできることを着実に頑張ってください。

以下、内定・合格状況をお知らせします。

【就職：県内】

(株)タナック 宿毛工場
水 i n g (株) 高松営業所
若松クレーン (株)
(株) R e l i f e
下田重機(有)
(株)建設マネジメント四国
(株)第一コンサルタンツ
豚座建設(株)
大旺新洋(株)
(株)四電工 高知支店
四国電力送配電(株)
中平工業
土佐くろしお鉄道(株)
CKDシコク精工(株)
四国メーカー(株)

【就職：四国内】

エリエールペーパーテクノロジー(株)
ダイオーロジスティクス(株)
四電エンジニアリング(株)
ダイオーエンジニアリング(株)
西日本高速道路エンジニアリング四国(株)
(株)古湧園

【就職：四国を除く県外】

(株)小松製作所 大阪工場（2名）
JFEスチール(株)西日本製鉄所
倉敷運輸(株)
愛知製鋼(株)
(株)U A C J 押出加工名古屋 安城製作所
(株)アイシン
(株)シマプンコーポレーション
(株)豊田自動織機
(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所
(株)小松製作所 滋賀工場
佐々木建設(株)
内外構造(株)
住友電気工業(株) 大阪製作所
東芝エレベータ(株) 関西支社
シャープサポートアンドサービス(株)
トヨタ紡織滋賀(株)
トヨタ自動車(株)
ビューテック(株)西日本事業所
(株)U A C J 名古屋製造所

【公務員】

国土交通省四国地方整備局（土木 5名）
高知県（土木）
大阪市（土木）
宿毛市（土木 2名、消防 1名）
黒潮町（行政）
幡多中央消防組合
陸上自衛隊（一般曹候補生）

【大学・短大】

高知工科大学 システム工学群
高知工科大学 情報学群
高知工科大学 データ&インフォメーション学群
高知健康科学大学 健康科学部
高知リハビリテーション専門職大学 理学療法学専攻
阪南大学 総合情報学部
環太平洋大学 体育学部
倉敷芸術科学大学 健康科学部
広島工業大学 環境学部（2名）
四国大学 経営情報学部
徳島文理大学 保健福祉学部
徳島文理大学 看護福祉学部
京都経済短期大学 経営情報学科
関西外国語短期大学 英米語学科
香川短期大学 経営情報科

【専修学校・各種学校等】

高知高等技術学校 自動車整備科
幡多看護専門学校 看護学科（4名）
神戸医療福祉専門学校 三田校 救急救命士科
京都伝統工芸大学校 木工芸専攻
松山デザイン専門学校 ファッションビジネス学科
福岡建設専門学校 建築科 夜間コース
河原アイペットワールド専門学校 ペット総合学科
高知開成専門学校 高度システム開発科
専門学校 岡山情報ビジネス学院 デジタルビジネス学科
穴吹デザイン専門学校 グラフィックデザイン学科
龍馬情報ビジネス&フット専門学校 会計ビジネス学科（2名）
龍馬情報ビジネス&フット専門学校 情報システム学科
龍馬情報ビジネス&フット専門学校 システム工学科
龍馬情報ビジネス&フット専門学校 セールスマネジメント・ブライダル学科
龍馬情報ビジネス&フット専門学校 調理経営学科
辻調理専門学校 調理師本科
高知理容美容専門学校 美容科
大阪リゾート&スポーツ専門学校 スポーツトレーナー科
JOHO広島情報専門学校 大学併修科
ECCコンピュータ専門学校 マルチメディア研究学科IT開発研究コース
今治看護専門学校 看護学科
龍馬デザイン・ビューティ専門学校 グラフィックデザイン学科（2名）
龍馬デザイン・ビューティ専門学校 建築インテリア学科
専門学校大阪デザイン・アカデミー グラフィックデザイン学科
龍馬看護ふくし専門学校 スポーツ健康学科
ECCアーティスト美容専門学校 ヘアメイクアーティストコース



令和6年度 特別表彰受賞者ならびに皆勤賞受賞者

令和6年度特別表彰受賞者、ならびに皆勤賞を受賞する生徒の一覧を掲載いたします。
※3年生対象です。

表 彰 名	氏 名	科 ・ 専 攻
産業教育振興会中央会長賞	池上	機械科機械専攻
高知県産業教育振興会長賞	植田	建設科建築専攻
高知のエジソン賞	宮崎	機械科機械専攻
高知県自動車整備振興会長賞	中島	機械科自動車専攻
土木学会会長賞	澤村	建設科土木専攻
高知県土木施工管理技士会長賞	松田	建設科土木専攻
高知県建設業協会会長賞	畑田	建設科土木専攻
	青木	建設科建築専攻
日本建築学会四国支部長賞	松本	建設科建築専攻
高知県設備協会会長賞	松井	電気科
全国情報技術教育研究会会長賞	大島	情報技術科
高知県情報産業協会会長賞	橘	情報技術科
特別功勞表彰	舩田	機械科機械専攻
	植田	建設科建築専攻
	上甲	情報技術科
	川村	情報技術科

～3ヶ年皆勤賞～

高校3年間、強い意志で日々を頑張った無遅刻・無欠席の生徒です。
素晴らしい努力の成果、おめでとうございます！

【機械専攻】

山本

1名

【土木専攻】

澤村

中野

畑田

3名

【建築専攻】

杉本

丸瀨

2名

【情報技術科】

西岡

廣畑

毛利

矢野

山崎

山本

6名

部活動成績・その他表彰



柔道部

第47回全国高等学校柔道選手権大会(冬季大会)

・男子個人81Kg級 3位 森岡 (1年自動車)



高知県職業能力開発協会会長賞

- ・三級機械加工の部 普通旋盤作業 谷口 (3年機械)
- ・三級機械加工の部 フライス盤作業 山本 (3年機械)
- ・三級機械加工の部 普通旋盤作業 島崎 (3年機械)
- ・二級機械加工の部 普通旋盤作業 宮崎 (3年機械)



2年生修学旅行ご報告(1月14~18日)

令和6年度修学旅行が1月14日~1月18日に行われました。
菅平高原スキー場にてスキー研修を実施後、東京の観光施設を見学しました。心配していた感染症や大きなけがもなく、皆無事に帰ってくることができました。

旅行を終えた生徒の感想文を掲載いたしますのでご覧ください。



修学旅行

今回の4泊5日の修学旅行を振り返ってみて、まず1日目の学校から出発した時は、これから始まる今まで自分が足を踏み入れたことのない関東、そしてスキー場などへの楽しみと期待だけに満ちあふれていました。初日の宿毛から龍馬空港へ、そして飛行機で高知→東京都、羽田空港。さらに羽田空港から長野県、菅平高原という大移動は計算すると約800kmの移動と今後もあまり経験しないであろう距離の移動はすべてが初めてのものばかりで楽しかったです。

2, 3日目のスキー研修は、滑って滑って回を追うごとに最初にあった不安と緊張などはなくなっていき、滑りに自信を持てるようになりました。ぜひ今後機会があれば、愛媛県のスキー場や再度菅平でのスキーを楽しみに行きたいと思いました。

4日目は、待ちに待った東京ディズニーランド研修でした。予想以上の面白さと人の混み具合で、さらに天気も良くすべて満喫できました。しかし後日、自分たちの行った1月17日の混雑状況をまとめたサイトを見ると過去最大級のガラ空きとあったので「この人数で？」と通常の人数が気になりました。

最終日の東京スカイツリーは想像以上の高さで迫力で1時間があっという間に過ぎました。今後大人になれば必ずもう一度旅行で行きたいです。

2年建設科土木専攻 野村

